

北信病院循環器センターとかかりつけ医の

「北信州心血管疾患」地域連携パス運用の手引き

2020. 12

北信総合病院は北信地域の中核病院の1つとして「急性期病院」を担当しています。急性期病院を退院後に患者の日常診療を主に担当する病院・診療所を「かかりつけ医」とした心不全疾患地域連携パスを「北信州心不全連携パス」、虚血性心疾患地域連携パスを「北信州虚血性心疾患（IHD）連携パス」と称します。

I 連携パスの目標

心臓血管病をもった生活者としてできるだけ再発を予防し、悪化した場合にも早期に適切な対応がとれるような診療システムを構築します。そして、その人らしい在宅生活が継続できるようコメディカルスタッフも連携して支援していきます。

- 1 患者が安心して慢性期治療を継続的に受ける事が出来るよう、北信総合病院とかかりつけ医が情報を共有します。
- 2 地域の保健・医療・福祉と連携し、生活面からも包括的に支援していきます。

II 連携パスの構成・内容

1 『医療者用パス』（診療情報提供書を兼ねる）

上から下へ「診察日・目標・症状・身体所見・検査・服薬・指導・説明・病状の注意点」の診療計画が記載されています。

右横列に退院時の状態を基準に診療所受診時の状態を6ヶ月間（12ヶ月間）記載する事が出来ます。

施設	病院	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所
経過	退院時 (外来 最終受診日)	1回目 (1ヶ月後)	2回目 (2ヶ月後)	3回目 (3ヶ月後)	4回目 (4ヶ月後)	5回目 (5ヶ月後)	6回目 (6ヶ月後)
診察日	20 / /						
アウトカム							
身体所見							
検査							
服薬							
指導・説明							
病状の注意点							

(医療者用連携パス内容)

2 『患者様用パス』

(1) 患者保管です。

(2) 6ヶ月間の日常生活上の指導項目が記載されています。

6ヶ月目（12ヶ月目）には北信総合病院定期受診となります。受診方法、当日のスケジュールが記載されています。

施設	北信総合病院	診療所	診療所	診療所	診療所	診療所	病院
経過	病院 1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目	定期受診当日
診察日	20 / /	20 / /					病院で 定期検査を行います
目標	・病状が悪化しない。 ・快適な日常生活を過ごすことができる。						
症状	・体重の変化を確認します。・疲労感や息苦しさの有無など確認します。						
診察・検査	・血圧、体重測定						
服薬	・服薬状況確認						
指導	・食事指導						

(患者様用連携パス内容)

III 運用方法

1 適応患者

- (1) 心不全患者、虚血性心疾患の患者
- (2) 従来のかかりつけ医があり、非代償性慢性心不全を発症、悪化によりそこからの紹介で入院し治療後退院する患者、または外来加療後安定した患者。
- (3) 従来北信総合病院の外来にて治療中で病状安定しているため近医へ逆紹介希望の患者。
- (4) かかりつけ医で心血管疾患加療中に代償性慢性心不全を発症し、今後の増悪、急変が予想されるため連携パス導入希望している患者。

2 運用の手順：北信総合病院

- (1) 『医療者用パス』を作成します。
- (2) 患者への説明と同意
患者に連携パスについて説明し、かかりつけ医と北信総合病院での連携診療の同意を得ます。『患者用パス』の説明をし承諾を得て、患者に手渡す。(連携課看護師)
- (3) 入院患者は退院前に多職種と患者・家族との合同ミーティングを行い、包括的治療の内容を確認し説明します。
- (4) かかりつけ医への連携パス提供
患者の退院時にかかりつけ医へ診療情報提供書と『医療者用パス』、必要に応じて治療のレポートなどを準備します。準備した書類はかかりつけ医に直接郵送します。
- (5) 6ヶ月毎（12ヶ月毎）の定期外来診察
 - ① 6ヶ月毎（12ヶ月毎）の定期受診では主に循環器疾患の検査（採血、検尿、胸部レントゲン、心電図、心臓超音波検査など）を行います。
 - ② 栄養指導、薬剤指導、心臓リハビリも合わせて行います。
 - ③ 新しい『医療者用』パス用紙に定期受診の結果を記入します。
 - ④ 栄養指導、薬剤指導、心臓リハビリの結果をモニタリング用紙に記入します。

⑤・新しい『医療者用』パスの原本

- ・栄養指導、薬剤指導、心臓リハビリのモニタリング用紙
- ・前回の『医療者用パス』のコピー（原本は北信総合病院に保管）
- ・次回受診予約票

（初回は心血管疾患基本情報も含む）

上記用紙をかかりつけ医に郵送します。

(6) 救急搬送

かかりつけ医から連携パス患者の診察を依頼された場合は、速やかに対応します。

また、患者が救急受診した場合は、『医療者用パス』の情報を確認します。持参されない場合は、かかりつけ医へ『医療者用パス』のFAXをお願いします。

3 運用の手順：かかりつけ医

- (1) 北信病院より提供された『医療者用パス』シートは診療所に保管します。
- (2) 患者の受診時には、連携パスの内容を確認し、必要に応じて血液検査などを行います。
（毎月検査を行う必要はありません。必要時かかりつけ医の判断で行ってください）
- (3) 処方を変更する場合、連絡事項等は『医療者用パス』シートの「病状の注意点」の欄に記載して下さい。その他医師のコメントなどありましたら記入して下さい。
- (4) 緊急で患者の入院加療や精査が必要と判断した場合は北信総合病院地域医療連携課へ診療を依頼し、当日までの『医療者用パス』シートを診療情報提供書としてFAXし、患者様に原本を持参していただきます。
- (5) 6ヶ月目（12ヶ月目）の北信総合病院定期受診時は『医療者用パス』シートの原本を診療情報提供書として患者に持参するように準備します。（診療情報提供書の算定要件を満たした書式になっていますので算定可能です。改めて紹介状は不要です。）
- (6) 病院受診後の新しいパスシート、検査、指導結果を受け取りパスの継続を行います。

地域医療連携課

虚血性心疾患地域連携パス運用にあたりお願い

当院より貴診療所に患者様を紹介させて頂くにあたり虚血性心疾患地域連携パスを運用させて頂きたくお願い申し上げます。

このパスは急性期治療を終えた患者様に日常診療を担当して下さるかかりつけ医と当院の医師が連携して患者様を診る事で病状が再発、悪化した時にも早期に適切な対応がとれる診療システムを目指したものです。

運用方法

- 1 患者様は月1回貴診療所を受診し年1回当院を受診して循環器専門医の診察を受けます。
- 2 貴診療所では患者受診時に当院から送付しましたA3のパスシート（診療情報提供書）に記入をお願い致します。
 - ・バイタルサインは毎回ご記入下さい。
 - ・検査項目は必要時行ってください。
 - ・処方の変更した場合のみ記入して下さい。
その際変更した理由を下のコメント欄にご記入下さい。
 - ・その他診療時お気づきの事がありましたら下のコメント欄にご記入下さい。
 - ・年1回当院を受診される際にこのシートが診療情報提供書となりますので患者様にお渡し下さい。（改めて診療情報提供書を作成して頂く必要はありません。診療情報提供書の算定要件も満たしておりますので算定出来ます。）

その他ご不明な点がございましたら、北信総合病院 地域医療連携課にご連絡下さい。

TEL 0269-23-2160（地域医療連携課 直通）

どうぞよろしくお願いいたします。